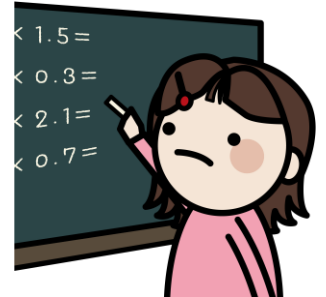


緑丘小学校算数科研究の現状

本校では、令和元年度から3年度までの3年間、五島市教育委員会の研究指定を受け、「算数科の学力向上研究」を行っています。以前の学力テストの結果を分析すると、児童の無解答率の高さや記述問題の正答率の低さが伺えました。そこで、算数科の授業改善の中で、特に「書く活動」に重点を置き、児童の学習に取り組む意欲、考える力の向上のため、研究主任の平田教諭を中心に、算数科の授業改善について研究を重ねています。昨年度末に行われた学力テストでは、結果に向上が見られました。更なる向上を目指して取り組んでいる内容について、保護者の皆様にお知らせするとともに、ご理解とご協力をお願いしたいと考えています。



児童アンケートの結果

算数科研究の現状と課題を知るために、6月に児童アンケートを実施しました。その結果、1年間の研究の成果が見られた一方で、新たな課題も浮かび上がってきました。

【児童アンケートの結果】6月9日 2～6年全児童で実施

※4件法（4…とてもよくあてはまる、3…あてはまる、2…あまりあてはまらない、1…あてはまらない）で、児童が自己評価で回答しました。

設 問	※自己評価の高い順に並びかえ	平均
算数で学習したことは将来必要だと思う		3.57
算数で学習した子は生活の役に立つと思う		3.56
友達の発表をよく聞いている		3.44
算数の授業がよくわかる		3.42
難しい問題にも最後まで取り組んでいる		3.39
問題が解けたらやる気が出てくる		3.39
新しい問題に出会った時それを解いてみたいと思う		3.36
書くことは得意だ		3.30
書けば考えがまとまる		3.19
前に学習したことを使って問題を解こうとしている		3.18
話を聞いた時反応している		3.17
自分の考えをいろいろな方法で書くことができる		3.17
計算問題は得意だ		3.17
図形の学習は好きだ		3.16
ノートやワークシートに丁寧に書いている		3.06
書けば発表しやすい		3.03
今日の学習の振り返りを書くことができる		2.98
文章問題を解くことは好きだ		2.96
自分の考えを進んで伝えている		2.83
自分の考えを友達に伝えるのが好き		2.82
書いたものを見せながら説明できる		2.67
授業ではよく手を挙げる		2.57
みんなの前で説明するのは好きだ		2.45
全 体 平 均		3.12

【児童アンケートの結果分析】

- 児童は算数学習の意義・必要性を感じている。
- 算数学習への自信、難しい問題にも取り組もうとする意欲などが伺える。
- 書くことへの抵抗が少なくなってきた。

▲文章問題への苦手意識が見られる。

→ 読解力向上の必要性

▲書いたことを「伝える」ことに苦手意識がある。

→ 「伝える場面」の意図的な設定

また、一部の児童に算数科に自信を無くしている児童がいることもわかりました。自己評価の平均が2.5を下回る児童が、全体の約16%いました。

→ わかる喜びを感じさせる授業展開

「相手に説明することができる」ということは、「完全に理解している」と言えます。説明するための「ツール」として、「自分の考えを書くこと」は理解に向けたキーポイントだと考えます。

今年度の主な取組

そこで、今年度の研究の柱として、以下の点を共通理解し取り組んでいます。

(1) 算数科の授業改善

全職員で授業の流し方を統一し、児童が安心して学習に取り組めるよう工夫しています。特に「伝え合う場面」を取り入れ、自信を持って考えを説明できる児童の育成をめざしています。

(2) 少人数指導の実施

3～6年生の算数科において、2クラスを3つのグループに分けた「少人数指導」を行っています。個に応じた細やかな指導を通して、学習内容の確実な定着をめざしています。

(3) 家庭との連携

ご家庭と連携しながら子どもたちの成長を育むために、以下のことを予定しています。どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

① 「家庭学習チャレンジ」の実施

家庭学習時間の確保と習得をめざすために、「家庭学習チャレンジ」を実施します。お忙しい中お手数ですが、時々お子さんの学習の様子を確認していただくと助かります。

② 「家庭学習のポイント」の配付

「家庭学習のポイント」を児童（3～6年）に配付し、家庭学習の内容の充実をめざします。親子で共通理解していただければ幸いです。

③ 「算数科通信」の発行

学校の取組の様子をお伝えするため、時々「算数科通信」を発行いたします。ご一読いただきますようお願いします。



研究主任から

《研究川柳》

これどうだ？

子どもも教師も 学び合い

子ども達は授業中、頭を働かせ、様々な解き方を考えます。

教師も、同じです。「どうしたら、子ども達にわかりやすく伝わるか」と日々、よりよい授業づくりについて話しています。教員としての指導技術の向上を目指し、子ども達の学力向上のために切磋琢磨し、学び合っています。2学期は、研究授業（互いの授業を見せ合い学び合う）をどんどん行っていきます。少しでも、「算数、わかって楽しい！おもしろい！」そう思ってもらえるよう努力し続けます。